グループワークで発表された意見のまとめ

**１.設計案について**

　 これまで開催してきたワークショップの中でいただいた意見を基に、設計案を２案作成し、各グループから

ご意見をいただきました。

　 １案と２案の主な特徴については次のとおりです。

〈１案の特徴〉

・市民の利用が高い窓口を１階に集約して配置し、多目的スペース、市民利用会議室などの市民利用スペースや銀行を３階に配置。

・レストランは２階に配置し、１９階には展望ホールとカフェを配置。

〈２案の特徴〉

・市民利用が高い窓口を１階と２階に分散して配置し、多目的スペース、市民利用会議室などの市民利用スペースや銀行を１階に配置。

・レストランは展望レストランとして、１９階に配置。

※１０グループ中、１案を評価したグループが最も多く、１案と２案の良い所を組み合わせた案とするご意見等、様々なご意見をいただきました。

**２．各グループから発表された意見**

|  |  |
| --- | --- |
| **窓口・市民利用スペースなどに関する意見** | 【窓口の配置】・1階に色々な窓口が集中している1案が良い・1階にできるだけ窓口を作ってほしい・窓口が中心に配置されている1案が良い・1階が窓口ばかりだと、今までと変わらない、新しくなっただけということになる・1案が市役所として機能的に働くことができる・市役所本来の役割を優先した方が良い・1案が利用者の動きが見えていきいきしている・1案は利便性が高いものは低層部に、利便性が低いものは高層部に分けている点が良い・市民が市役所を使う目的を考えると、1階は窓口を集約した方が良い・お金を扱う窓口は、1階か2階にまとめて広いスペースを確保し、1箇所にまとめた方が良いのではないか・4階に農林水産、土木関係の窓口を持ってこれないか【高齢者、障害者、こどもに関する窓口】・高齢者、障害者が使いやすい窓口配置としてほしい・高齢者が増えていく中で、高齢者関係の窓口を1階に設置するのか。また、ベビーカー等をエレベータで移動させるのも難しいので、こども関係の窓口と高齢者関係の窓口のどちらを優先して下の階にするのか・1案は2階こども関係、福祉・健康関係が近すぎるのではないか・こども関係は、低層階にある必要はない・１案でこども関係は2階以下に配置してほしい・カウンターの高さを車いす利用者に合わせる・1階には手話通訳ができる方を配置するなど、細かく優先順位を付けて考えてほしい【窓口の数】・窓口の数はどこまで精査されているのか・今はコンビニでも手続きができることも考えると、窓口が多すぎるのではないか【相談室】・窓口の業務として手続きは減り、相談が増えると考えられるのでそこを考慮してほしい・相談室は全て1階に集約できないか・1階の相談室は、遮音性をあげて周りの音が漏れないよう、かつ安全性も考えてガラスの部屋もほしい【その他】・手続きが終わって書類をもらうまでの待ち時間を、できるだけ少なくするよう、バイブレーションで知らせる装置や、携帯のアプリで知らせるようにすれば、待ち時間に色々なところを見て回ったり食事をしたりできるのではないか・手続き以外のことで市役所に来てもらえるようにするのが大事なのではないか**市民利用スペース・利便施設など**【多目的室・市民利用会議室の配置】・市役所に用事があって市民が来るので、大きい多目的室や会議室が必要なのかどうか・多目的スペースや会議室は、目的のある人だけが訪れ、使わないときに1階にあるともったいないので、上の階で良い・会議室はバラバラに配置されているが、職員だけでなく市民も使える会議室がよい・土日も使えるのであれば、市民が使うスペースは必ずしも1階でなくても良い・1案は1階の市民窓口の一部に、3階の多目的室を持ってきたい【待合スペース・情報コーナーなど】・待合スペースの活用として、パーティションで区切って部屋にできる等、多目的な使い方ができるようにしてほしい・2案の1階は窮屈でつまらない・1階の待合のところで観光の方に対するウェルカム感を出してほしい・1階の待合は休日には展示ホールとして利用してはどうか・待合スペースの椅子は、可動式にしてほしい・4階のミーティングスペースは、軽い家具にした方が良い・1階情報コーナーが狭いので、もう少し広くしてはどうか・1案2案ともに、観光客が立ち寄れる情報コーナーを設置した方が良いのではないか・2案は長崎の魅力を発信していくことができるスペースがあるのがよい【高齢者・障害者・こどものスペース】・全体的に高齢者がゆっくり休めるスペースが少ないので、そのようなスペースや、ふらっと来た人が休める場所がほしい・1階のキッズスペースは広いものがほしい・キッズスペースが十分に確保されていないので、低層部の屋上を活用して囲んで遊ぶスペースを設ければ、その隣にこども関係の部署を持って来れば、より有効活用できるのではないか・多目的スペース利用時の、こどもの遊び場がほしい・1案は2階のこども関係の部署に合わせて、中高生も寄れるようなスペースを作ってほしい【銀行・売店など】・銀行は2階・3階でいいのではないか、1階はATMだけでよいのではないか・1案は銀行なども下の階に持ってこれないか・1案の3階の銀行などは、1階にするのが良いのではないか、サインも分かりやすく・銀行は建物内に必要なのか、窓口は必要ないのではないか・売店とカフェのスペースは足りているのか、業者のことも考えると良いのではないか・できれば売店はコンビニのような機能がほしい【休日利用】・多目的スペースは休日利用したい・休日に閉鎖される部分は、スペースを別にして作っていった方がよいのではないか・休日開放するのはどの部分か、セキュリティも含めて考えていく必要がある・フロアごとにセキュリティを掛けられる構成とすれば、コストを安くできるのではないか・土日夜間のセキュリティチェックが必要ではないか・1案2案ともに、夜間休日に使える授乳スペースを作ってほしい**窓口・相談室** |
| **レストラン・カフェ、展望フロアに関する意見** | 【レストラン・カフェの配置】・レストランは2階が良い・レストランやカフェは少し縮小しても良いのではないか・高齢の方は屋上のレストランに行きにくいと思われるので、レストランは2階にして広場と一体に見える形が良いのではないか・レストランは必ずしも1箇所でなくても良いのではないか**展望フロア**【展望フロアの活用】・展望フロアの事故などの安全面も必要ではないか・展望ホールが屋上にあると、エレベータを利用する人と職員で混雑する・屋上で回遊して長崎市内全体が見えるということが、長崎市のシンボルになるのではないか・屋上の利用に関する設備をもう少し設置できないか・屋上庭園は、オーニングを付けた方が良い・展望フロアは360度見渡せる形が良い・回廊状にしても、山側は住宅ばかりで良い眺めではないので、見れなくても良いのではないか【展望フロアの配置】・展望フロアは1案（360度眺望+カフェ）が良い・展望ホールはカフェでも良いのではないか・展望フロアはカフェだと魅力が足りなくて人が行かないのではないか・展望フロアのカフェは室内が良い・屋上にレストランがあって人が来るのか、展望ホールにレストランは必要ない・レストランは屋上になくてもよいのではないか・最上階のレストランは、夜景をコンセプトとしている長崎にとって非常に有益である・19階の屋上は夜間の今の季節だとイルミネーションがきれいなので、カフェを利用したい・最上階はレストランを設けるとしても、必ず回廊状がよい・19階のレストランは、定期的に事業者が変わるようにすれば、市民の関心を継続させられるし、飲食業のスタートアップの支援もできる・1案の展望フロアのカフェは小さく、雨風が吹くと使えないので、2案のレストランを1案に持ってきても良いのではないか・2階と19階の2箇所にレストランを設置し、それぞれ特徴をもったお店が入れば、職員もたまに19階を使う等、棲み分けができるのではないか**レストラン・カフェ** |
| **その他** | ・総合案内も現庁舎に引き続き継続してほしい・総合案内に観光案内の機能を付けてほしい・まちなかエリアが近くにあるので、街歩きの拠点となるような、さるくの受付やガイドの常駐場所など、観光客向けの案内所スペースをしっかり設けてほしい・窓口がわからない方のために、各フロアに案内を担当するボランティアがほしい・長く使う市役所なので市民が行きやすく、利用しやすく、利便性が高く、ハンディのある方も利用しやすく、発達障害等の方もいるので、そういう方にも分かり易く表示をしてもらえると良い**案内・サイン****議会・執務空間**・議会は1年で4か月しか開催されないので、議場も空いているときは他の用途で使えるような形が良い・議会をもっと市民にオープンにして、議会に関心が持てるような工夫が必要・職員の意見も聞いているとのことだが、あまり反映されていないのではないか・もっと職員の意見を聞いて議論して、職員にとっても良い庁舎にしていく必要がある・職員の働き方を考えた執務スペースとしてほしい・職員の休憩場所もしっかり考えて、働きやすい環境を考える必要があるのではないか**広場の活用**・1案は東側広場と1階～3階の一体感が良い・広場にたくさん木を植えて、木陰としてほしい・広場に休み石やベンチを設置してほしい・くんち広場が設けられている点が良い・広場におくんちの練習で使う踊り場に、円形の座席を常設してほしい |
| **その他** | ・階数はもう少し低くならないのか・設計前にドローンを飛ばして景色を撮影すれば、問題点なども見えてくるし、想像しやすくなる・近隣住民に対するプライバシーの配慮・建物建設時の騒音に配慮してほしい・南側の道路に対しては、通りの住民が何もわかっていない状態で計画をする、というような進め方で本当によいのか・市役所の機能を重視した案、市民に開放された案の2つの案があっても、その通りの向こう側にいる市民との整合性が取れていない中では、もっと丁寧に時間をかけてすりあわせが必要ではないか・車の通りが多い道なので、駐車場の入口が混雑するのではないか・1階に設置された障害者用駐車スペースは、安全性も考慮したうえでもっと増やせないか・どこにバスが止まるのか、人はどのように流れるのかということの考え方だけでもわからないことには、玄関の向きもわからないのではないか**アクセス****ユニバーサルデザイン**・１案2案ともに、バリアフリーに対応し、できるだけ多くの人が利用できる場所をつくっていく必要がある・エレベータはストレッチャーが入るものを考えてほしい・1案は、これから増える高齢者にバリアフリーのふれ合える場所を設けた方が良い・車いすが十分に通れる広いスペースをとってあるのが良い・多目的トイレは玄関の近くがよい・高齢者や障がい者のために、窓口の近くに障がい者用トイレや待合室がほしい・3回目のワークショップでプランが出てきたが、今までのプロセスの中で評価できるのか・ワークショップでやるのであれば、その情報を公開した中で市民に意見を問うて欲しい・3回のワークショップで終わるのは、不自然だと考えている・未討議の部分が多いのではないか・市民から意見を吸い上げる機会をもっと作ってもらえないか・市民は市庁舎に対して真剣にものを申したいという方が多くいるので、そのような場を作ってもらいたい**市民の意見の反映**・市民の財産になるものなので、稼働率を上げたい・低層階の屋上の利用も考えてはどうか・交番を置くスペースを設けられないか・市役所の中になくてもいいものは、見直してほしい・設計者には、市役所に何をしに来るのか、来る理由は何かということを考えてほしい**その他****景観・周辺への配慮**・喫煙室がどこにもない・喫煙ルームはあった方が良い・喫煙所が1階だけ、19階だけという配置ではなく、各階の配分を考えて設置してほしい**コンセプト・まちづくり**・これからのまちづくりは、行政と市民が手を携えてやっていくのが長崎市のビジョンだと思うが、それを体現するのが新しい市役所の1階部分となる・今まで出てきた意見をどのように整理していくか、選択していくかといったときに、最初に示された賑わいの創出、交流を促進させるというコンセプト、今までの市庁舎の概念を超えるものという言葉の定義をはっきりさせたうえで、図面が出てきた方が良い・今後長崎市が目指す方向を表現できるような1階にした方が良い・まちなか軸と市役所のプランの中で、どこに整合性があるのか・市庁舎だけでなくまち全体で賑わうような、市の施設の機能配分を考えながら、町全体の拠点のエリアとして、跡地利用も含めて考えてほしい・2案は賑わいの拠点として活用できる・2案は中通りなどに賑わいをどのようにつなげていくのか・2案は新しい可能性があるのではないか・乳幼児健診室があるが、市役所にそれが必要なのかどうか、跡地に作ってはどうか・市役所跡地との連携を考えながら、会議室等はそちらに整備してはどうか**喫煙所**・機械室が上階にあり、浸水対策がされており良い・災害時に避難した人は、シャワーの利用はできないのか・地下階は水害時大丈夫なのか・1案は3階に多目的スペースがあると、災害時に大変ではないか**災害対応** |